

2005年1月4日

報道各位

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号
新日鉱ホールディングス株式会社

当社社長の「2005年 新年挨拶」について

当社社長 清水康行の「2005年 新年挨拶」は要旨次のとおりです。

1. 中国等の経済成長を背景に世界経済の地合が大きく崩れることはないと予想されるものの、当グループの事業は外部環境に大きく左右される構造にあることから、マーケットリスクを最小化すべく適宜適切な対応を図っていく。
2. 本年12月に創業百周年を迎える当グループは、その伝統の力を受け継ぎつつ、来る100年に向けて新たなチャレンジを開始するが、本年はその足掛かりを築く年にしたい。具体的には、アジア地域、特に中国における事業拡大・強化、アップストリームの強化、マーケットインの発想に立った技術開発力の強化に取り組んでいく。
3. 中国の諺に、「1年先を考えるならば種を蒔け、10年先を考えるならば木を植えよ、100年先を考えるならば人を育てよ」との三樹の教えがある。今後のグローバルな事業展開、熾烈な技術開発競争を考えると、技術力・マネジメント力強化を中心とした人材育成に注力していく必要がある。このため、「マネジメント教育研修センター（仮称）」を設置するとともに、グループの基盤・要素技術の深化を図る「環境分析センター（仮称）」のような組織を立ち上げることとしたい。

以上

お問い合わせ先： 新日鉱ホールディングス株式会社 IR・広報担当
山本・高元・花島
(TEL : 03-5573-5123 FAX : 03-5573-5139)